

令和3年度第4回奈良市男女共同参画推進審議会会議録【概要版】	
開催日時	令和4年2月21日（月）午後1時30分から3時00分まで
開催場所	奈良市男女共同参画センター会議室
議 題	1 奈良市男女共同参画計画（第3次）の案について
出席者	委 員 島本委員、川村委員、池上委員、江川委員、國原委員、 小林委員、坂口委員、永井委員、西川委員、東委員 【計10人出席】
	事務局 中川市民部長、松原課長、市川室長、清水主任、 新井、櫛田、加藤
開催形態	公開（傍聴人0名）
担 当 課	市民部共生社会推進課 男女共同参画室
議 題	1 奈良市男女共同参画計画（第3次）の案について
決定又は 取り纏め 事項	1 奈良市男女共同参画計画（第3次）の案及び答申案について議論 を行い、いずれも原案どおり承認された。
議事の内容	
<p>案件（1）奈良市男女共同参画計画（第3次）の案について</p> <p>（委員） 女性の活躍を推進しようとする働きがなければ、まだまだ女性の社会的な進出は難しい。性別に関係なく、お願いしたい相手が女性、男性であったという形が望ましいが、まだまだ女性への働きかけを必要とする社会なのかなと実感している。少しずつでも変わってほしい。</p> <p>（委員） 計画案の中で前回から文章が変わったところがあるが、以前は「男性は～、女性は～」という表現は普通の表現だったのだろうが、今は違和感があると捉え、「男女が共に～」という表現に変わった。時代によって少しずつ変わってきている。この3次計画は今の奈良市の現状をうまく反映できている。</p> <p>（委員） この計画を市長自ら強く発信し、奈良市の施策として大きく打ち出していきたい。</p> <p>（委員） 特別支援教育の項目が追加されたことについて、共感を覚える。特別支援教育</p>	

は現場でも浸透していることであり、今度できる子どもセンターと連携しながら、学校だけでなく市全体で子どもたちと保護者を守る仕組みを作り、進めていきたい。

(委員)

特別支援の相談教育は大事なことだと思う。4月から子どもセンターができるが、建物ができて機能していないと宝の持ち腐れとなるので、奈良市の財産として暮らしに密着した新しい事業を展開して欲しい。この計画案を実行に向けて、ぜひ市民の皆さんの暮らしに密着した形にして欲しい。

(委員)

男女共同参画計画について、「男女」という表現でいいものか感じている。奈良市の組織改正で共生社会推進課という部署が出来たこともあり、次の第4次計画では男女という言葉を使わない表現をしたら良いのではないか。

(委員)

男女という表現方法の在り方について、同意する。今、日本人の1/11に相当する方がLGBTQに該当するという。アメリカでは、男性、女性、LGBTQいずれにも当てはまらない人を「X」と表現しており、意識的にもかなり進んでいる。今、男子も家庭科が必修となっているが、その最初の世代が40代になり、社会もかなり変わってきていると思う。

(委員)

会社において、出張を依頼する候補者が育児中だとすると、その人に声をかけて出張の機会を与えるべきか、プレッシャーとにならないよう候補から外すべきか、社内でも議論の対象となっている。偏見と思いやりは紙一重であり、正解はないのだと思う。しかし、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）については、偏見であるということを周知していかなければならない。

(委員)

本計画について、良い答申に結び付き、市民の皆様に広く行き渡り、男女共同参画がますます良い方向へ広がって欲しい。

(委員)

県の警察関連の委員もしているが、市の子どもセンターと県が情報共有の協定を締結したと聞いた。救うためには、警察だけでなく色々な機関と提携し、皆で守っていくという形で今後も発展していただきたい。

資 料	<ul style="list-style-type: none">(1) 会議次第(2) 奈良市男女共同参画計画（第3次）（案）(3) 第2回奈良市男女共同参画推進審議会後の修正箇所及び、修正資料(4) 奈良市長から審議会会長宛ての諮問の文書(5) 奈良市男女共同参画計画（第3次）案に対する意見募集の結果(6) 奈良市男女共同参画計画（第3次）案の答申（案）について(7) 性別役割分担意識の過去の結果（年齢別の結果が分かるもの）
-----	---

令和4年 月 日

議事録署名委員

議事録署名委員